

タバコによる火災を防止しよう！

1 火災による死者発生状況

令和2年4月26日現在、令和2年中の死者は40人です。令和元年に続き過去5年の中で2番目に多い発生数です（図1参照）。また、死者の内高齢者の死者数は80%と非常に高い状況です（図2参照）。

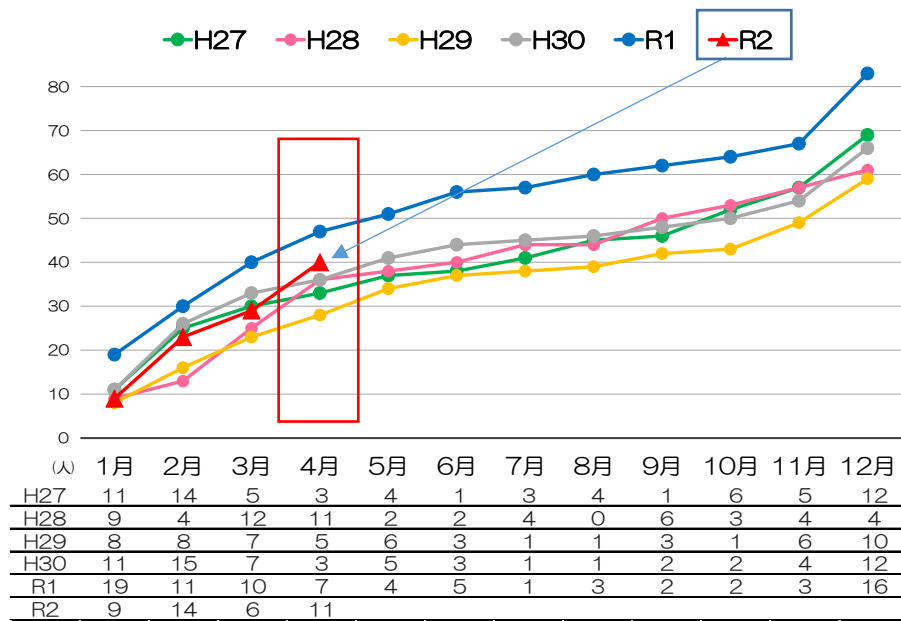


図1 過去5年間の死者発生状況の推移

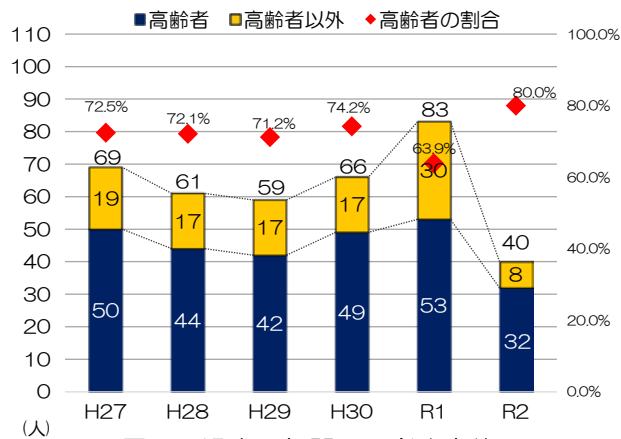


図2 過去5年間の死者発生状況

2 火災による出火原因別死者発生状況

令和2年中では、タバコやストーブが多く、**令和元年中はタバコの死者が最も多い状況**です（図3参照）。

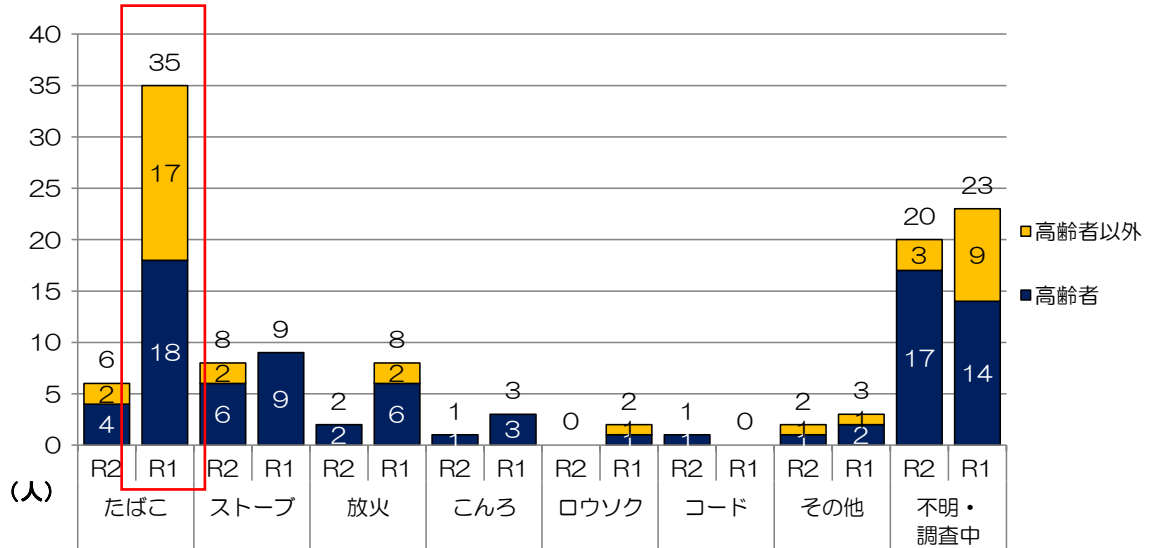


図3 出火原因別の死者発生状況

※ストーブによる死者のうち、令和2年は6人、令和元年は5人が電気ストーブによるものです。

※放火による死者のうち、令和2年は1人、令和元年は6人が居住者による放火と推定されるものです。

3 タバコ火災の特徴

タバコによる火災は、すぐに燃え上がりしばらく無煙燃焼（炎を出さずに燃え広がる）を続け、出火します。また、延焼面積の少ない火災でも、一酸化炭素中毒で死者が発生しています。

4 タバコ火災を防ぐポイント

- 寝たばこは絶対やめましょう。
- 飲酒しながら喫煙し、うたた寝をしないようにしましょう。
- 吸殻を灰皿やゴミ箱にためないようにしましょう。
- 吸殻を捨てる時は、必ず水をかけましょう。
- くわえ煙草をしながら作業等をしないようにしましょう。

